

【資料5】業者選定基準

国際教養大学ウェブサイトリニューアルに係る企画制作及び移行・運用補助業務委託 業者選定基準

公立大学法人国際教養大学(以下「委託者」という。)が発注する「国際教養大学ウェブサイトリニューアルに係る企画制作及び移行・運用補助業務」(以下「本業務」という。)の委託に係る業者選定基準については、次に掲げる方法により評価する。

1. 審査機関

- (1) 本業務の審査については、国際教養大学ウェブサイトリニューアルに係る企画制作及び移行・運用補助業務 業者選定委員会(以下「選定委員会」という。)において行う。
- (2) 選定委員会は、本業務に関する【資料1】公募型プロポーザル実施要領、【資料2】仕様書、【資料3】仕様書別紙、【資料4】企画提案書作成要領で求める企画提案書が、仕様書及び仕様書別紙に記載する要件を満たしているかの判断及び下記3. 及び4. に基づき付与する点数の判断について審査する。

2. 業者選定基準

- (1) 決定方法
次に掲げる各要件のいずれにも該当するプロポーザル参加者のうち、3. と4. に定める評価方法により算出された提案点と価格点の合計点が最も高い者を契約候補者として選定する。
 - a) 価格点のもととなる企画提案の提案金額が、委託料上限額の範囲内であること。
 - b) 提案点が105点以上であること。
- (2) 最高得点者が2者以上いるときは、提案点が高い者を契約候補者とする。提案点、価格点とも同点の場合は、選考委員会内での協議により最高得点者の中から契約候補者を決定する。

【資料5】業者選定基準

3. 提案書の評価方法並びに価格点の算出方法

本業務の提案点、並びに価格点の算出については、【資料1】公募型プロポーザル実施要領、【資料2】仕様書、【資料3】仕様書別紙、【資料4】企画提案書作成要領、並びに下記評価基準に基づき次のとおり行うこととする。

- (1) 各提案について、評価基準に記載している要求要件を満たしているかを判断し、具体的かつ評価できる場合については、その提案に応じ配点に沿った評価点を付与する。
- (2) 仕様書及び評価基準に記載されていない提案については、本業務の必要度及び重要度に照らし、必要の範囲を超えているものについては評価対象としない。
- (3) 提案点及び価格点の配分

点数は200点満点とし、得点配分については提案点を175点、価格点を25点とする。

提案点	175点
価格点	25点

4. 提案点および価格点の評価基準

(1) 提案点評価基準

No.	提案項目	評価基準	評価点数	配点
1. 組織・体制				
1-1.	開発業務を円滑に遂行可能な体制	・各業務を遂行するために十分な人員が確保されているか。また、提示した工程に照らし合わせ、本業務を安定的に実現できる体制が整っているか。	S: 評価基準を大幅に上回る(15点) A: 評価基準を上回る(12点) B: 評価基準を満たしている(9点) C: 評価基準を下回る(6点) D: 評価基準を大幅に下回る(3点)	15
1-2.	総括責任者の本業務に対する経験及び資質	・総括責任者は提案する業務における十分な経験・実績を有し、安定的かつ確実に本業務を遂行する能力・資質があるか。 (ゼネラルマネージャーとして本業務同等以上の業務を複数マネジメントした経験があることが望ましい)	S: 評価基準を大幅に上回る(15点) A: 評価基準を上回る(12点) B: 評価基準を満たしている(9点) C: 評価基準を下回る(6点) D: 評価基準を大幅に下回る(3点)	15
1-3.	組織のバックアップ体制	・予期せぬトラブルや人員構成の変更など、業務遂行環境の変化に対し、継続して本業務を遂行できるバックアップ体制が整っているか。	S: 評価基準を大幅に上回る(10点) A: 評価基準を上回る(8点) B: 評価基準を満たしている(6点) C: 評価基準を下回る(4点) D: 評価基準を大幅に下回る(2点)	10
1. 組織・体制 小計				40

【資料5】業者選定基準

2. 受注実績				
2-1.	十分な量・質の受注実績	<ul style="list-style-type: none"> ・同等規模の類似業務を確実に遂行した実績があり、さらに類似業務実績における諸問題の解決や改善提案など、十分な質的実績があるか。 	S: 評価基準を大幅に上回る(10点) A: 評価基準を上回る(8点) B: 評価基準を満たしている(6点) C: 評価基準を下回る(4点) D: 評価基準を大幅に下回る(2点)	10
2. 受注実績 小計				10
3. 企画・サイト構造設計およびページデザイン				
3-1.	ヒアリング・要件整理、総合的なデザインの提案	※企画提案説明書+デザイン案をもとに評価します。 <ul style="list-style-type: none"> ・本学ウェブサイトの位置付けや趣旨、各種仕様を十分理解した上で要件を整理し総合的なデザインを立案しているか。 ・提案が現行ウェブサイトの諸課題を正確に把握した上で、それらに的確に対応しているか。 	S: 評価基準を大幅に上回る(15点) A: 評価基準を上回る(12点) B: 評価基準を満たしている(9点) C: 評価基準を下回る(6点) D: 評価基準を大幅に下回る(3点)	15
3-2.	サイト構造、情報発信強化に関する提案	※企画提案説明書+デザイン案をもとに評価します。 <ul style="list-style-type: none"> ・サイト構造の提案が、直感的で明確、分かりやすく、情報を探しやすい構造となっているか。また、受験生、在学生、保護者、企業、地域など想定される閲覧者のそれぞれにとって、分かりやすく情報が探しやすい提案となっているか。 ・本学の特長や研究、地域/国際連帯などの情報発信・コンテンツの強化に対する工夫が見られるか。 	S: 評価基準を大幅に上回る(15点) A: 評価基準を上回る(12点) B: 評価基準を満たしている(9点) C: 評価基準を下回る(6点) D: 評価基準を大幅に下回る(3点)	15
3-3.	CSS、レスポンス、可読性などあらゆるユーザーを配慮したデザインの提案	※企画提案説明書+デザイン案をもとに評価します。 <ul style="list-style-type: none"> ・トップページ及び下層ページのデザインがあらゆるユーザーに配慮しており、分かりやすさ、情報の探しやすさ、ユーザビリティ、可読性などが確保できているか。 ・デスクトップ画面およびスマートフォンやタブレットなどモバイル画面のそれぞれの特性を活かしたデザイン、レイアウトとなっており、配慮・工夫が見られるか 	S: 評価基準を大幅に上回る(10点) A: 評価基準を上回る(8点) B: 評価基準を満たしている(6点) C: 評価基準を下回る(4点) D: 評価基準を大幅に下回る(2点)	10

【資料5】業者選定基準

3-4.	コンテンツ及びクリエイティブ制作に関する提案	<p>※企画提案説明書+デザイン案をもとに評価します。</p> <p>・トップページ、下層ページの提案において、本学の情報発信の趣旨を熟知した上で、ターゲットオーディエンスへの訴求力を持つコンテンツやクリエイティブを提案しているか。</p>	<p>S:評価基準を大幅に上回る(10点) A:評価基準を上回る(8点) B:評価基準を満たしている(6点) C:評価基準を下回る(4点) D:評価基準を大幅に下回る(2点)</p>	10
3. 企画・サイト構造設計およびページデザイン 小計				50
4. 開発				
4-1.	CMS、運用管理環境の開発・整備に関する企画・提案	<p>・【様式3】仕様書別紙「2. CMSおよび運用上の要求仕様」および「3. CMSおよび運用上の機能的検討事項」に対し、諸課題を十分に解決した提案となっているか。</p> <p>・多言語対応、日常的な更新業務やサイト管理業務の効率化など、本業務で求められるウェブサイトのあり方を十分に理解し、適切な管理・運用システムを提案しているか。</p>	<p>S:評価基準を大幅に上回る(20点) A:評価基準を上回る(16点) B:評価基準を満たしている(12点) C:評価基準を下回る(8点) D:評価基準を大幅に下回る(4点)</p>	20
4-2.	ホスティングサーバ、セキュリティ対策、既存ウェブサイトデータの移管・更新など実装開発業務に関する提案	<p>・提案するホスティングサーバとその周辺インフラがウェブサイト運用に十分な仕様であり、かつセキュリティ上の諸問題への対策が適切か。</p> <p>・既存ウェブサイトのデータ移管・更新など実装開発業務における実施項目、方法、工夫が適切か。</p>	<p>S:評価基準を大幅に上回る(10点) A:評価基準を上回る(8点) B:評価基準を満たしている(6点) C:評価基準を下回る(4点) D:評価基準を大幅に下回る(2点)</p>	10
4-3.	各種テスト、ウェブアクセシビリティ検証・修正対応、運用マニュアル作成など品質管理および検査に関する提案	<p>・各種テスト、アクセシビリティ検証および修正対応、運用マニュアルの作成など品質管理業務における提案が適切に行われているか。</p>	<p>S:評価基準を大幅に上回る(10点) A:評価基準を上回る(8点) B:評価基準を満たしている(6点) C:評価基準を下回る(4点) D:評価基準を大幅に下回る(2点)</p>	10
4. 開発 小計				40
5. 運用				
5-1.	保守・運用に関する提案	<p>・制作後のウェブサイトを、安定的かつ効率的に運用するための十分な工夫や提案が盛り込まれているか。</p>	<p>S:評価基準を大幅に上回る(10点) A:評価基準を上回る(8点) B:評価基準を満たしている(6点) C:評価基準を下回る(4点) D:評価基準を大幅に下回る(2点)</p>	10
5. 運用 小計				10
6. 工期提案と実現性				

【資料5】業者選定基準

6-1.	全体の工程及び各作業工程の適正および実現性	<p>※【様式5-3】作業工程予定表および企画提案書をもとに評価します。</p> <p>・1. 組織・体制で提案している人員配置や稼働人工に照らし合わせ、工期は十分な実現性・妥当性があるか。</p> <p>・ページデザインやコーディング、開発やテストなど、並行して行われる複数業務の実働工程が明確かつ実現可能な工期として組まれているか。</p>	<p>S:評価基準を大幅に上回る(15点)</p> <p>A:評価基準を上回る(12点)</p> <p>B:評価基準を満たしている(9点)</p> <p>C:評価基準を下回る(6点)</p> <p>D:評価基準を大幅に下回る(3点)</p>	15
6-2.	作業工程の遅延などへの対応	<p>※【様式5-3】作業工程予定表および企画提案書をもとに評価します。</p> <p>・工期遅延などが生じた場合、工期を取り戻すための施策が具体的かつ明確に提示されているか。 (必要に応じて外注・監督により工期圧縮、自社内で人員を補充するなど対策が具体的か)</p>	<p>S:評価基準を大幅に上回る(10点)</p> <p>A:評価基準を上回る(8点)</p> <p>B:評価基準を満たしている(6点)</p> <p>C:評価基準を下回る(4点)</p> <p>D:評価基準を大幅に下回る(2点)</p>	10
6. 工期提案と実現性小計				25
				提案点合計:175点

(2) 価格点評価基準

No.	提案項目	評価基準	配点
1. 価格点			
1-1.	企画制作及び移行業務価格	<p>計算式 = $20 + \{1 - (\text{提案価格} / \text{委託料上限額})\} * 20$</p> <p>「提案価格 / 委託料上限額」の計算にあたっては、小数点以下第3位で四捨五入するものとする。価格点が小数点を含む場合、小数点以下第1位で四捨五入するものとする。</p> <p>また、計算式の値が25点を超える場合は、価格点の得点は25点とする。</p>	25
価格点の合計:25			